

移民から考えるSDGsピクトグラムづくり

Key words 持続可能な社会、現代の諸課題、移民の生活と持続可能な開発

1 活用する主な展示および資料

- 紙芝居「カリナのブラジルとニッポン」
- 海外移住資料館「パスポート」
- 地球的課題としての移民の現状がわかる展示および資料



2 教科・領域との関連性および総時間数

- 中学校社会科（公民的分野）
- 高等学校公民科（公共）
- 全4時間（事前1時間、見学2時間、事後1時間）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

3 目標

- 持続可能な社会を創るために解決すべき現代の諸課題として移民の歴史や現状を理解し、SDGsと関連する展示からピクトグラムをつくるための情報を、まとめようとしている。【知識・技能】
- 移民の歴史や現状を公正な視点から捉え、持続可能な開発を多角的・多面的に考察し、合意形成や社会参画を視野に入れ、構想したことをSDGsのピクトグラムで表現している。【思考・判断・表現】
- 移民の歴史や現状からSDGsのピクトグラムづくりを通して、移民というテーマを現代の諸課題と捉え、これからの持続可能な社会を主体的に追究している。【主体的に学習に取り組む態度】

4 単元について（教材観・単元設定の理由・資料館活用の視点など）

【教材観】17の目標と169のターゲットからなるSDGsと移民の歴史や現状との関係が示されている「パスポート」を採用する。SDGsについては、「環境」「経済」「社会」という三つの視点を意識しながら、17の目標だけではなく、それぞれの目標にある169のターゲットまで理解し、具体的な移民の生活と関連付けられるように学びを促す。「パスポート」からは、資料館がどのように展示とSDGsを紐づけているかを読み取り、紐づけされている目標にフォーカスする。「われら新世界に参加す」という矜持からこれからの持続可能な社会を考えるヒントを得られるようにする。

【単元設定の理由】「SDGsピクトグラムづくり」を中心に単元設計をしていく。生徒一人ひとりの考えるこれからの持続可能な社会を移民の視点から17の目標をピクトグラムで表現すること（移民の視点によるSDGsの具体化）をねらいとする。「日本人の海外移住」「経験を語り継ぐ」「アグロフォレストリー」「日系人・日系社会の現在」などをテーマに調査し、得た情報を根拠として表現する。

【資料館活用の視点】展示の内容と紐づけされたSDGsの関係を読み取り、移民の視点から持続可能な社会を考えられるようにすることで、SDGsピクトグラムづくりに活かせるようにする。

5 展開計画

流れ	主な学習活動と子ども（学習者）の意識	留意点
事前学習	<p>【単元を通して考え続ける問い】移民の視点からこれからの持続可能な社会を考えると、あなたはどのようなSDGsピクトグラムをつくるか？</p> <p>1. SDGsの目的・意義・スローガン：17の目標と169のターゲットの確認、2030年までに達成すべき目標、地球上の「誰一人取り残さない」。</p> <p>2. 「パスポート」から展示とSDGsの関係を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「1. 経験を語り継ぐ」：目標10・16・17 ●「2. アグロフォレストリー」：目標2・13・15 ●「3. 日系人・日系社会の現在」：目標10・16・17 <p>3. 紙芝居「カリナのブラジルとニッポン」の読み解き</p> <p>問. 紙芝居をよみききして、あなたが関連すると考えるSDGsは何ですか。理由とともに考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「目標10：人や国の不平等をなくそう」：文化背景の異なる他者と出会ったときに起こる差別・偏見を考えるなど 	<ul style="list-style-type: none"> ●移民の歴史や現状と関連づけられるようにSDGsを解釈できるように促す。 ●知っているか知らないかではなく、何を感じたのかを大切にできるように配慮する。
	資料館見学	<p>1. 展示の内容とSDGsの関係を調査しよう！：展示の内容と紐づけされているSDGsを解釈して、探究してみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「2. われら新世界に参加す」：②イグアス移住地→目標9・15・17、③大地に挑む→目標2・9・15、④栽培していた農作物→目標2・13・15、⑤野菜栽培→目標9・15、⑩教育→目標4 ●「3. 日系人・日系社会の変遷／日系人・日系社会の現在」：③COPANIの盾→目標10・16・17、⑥経験を語り継ぐ→目標10・16・17 <p>2. 移民をテーマとした持続可能な開発目標を考えよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「目標10：人や国の不平等をなくそう」→「人の移動による文化背景の異なる他者（多様性）の尊重」と解釈。
事後学習	<p>1. SDGsピクトグラムづくり：自分が調査した情報をもとにして、SDGsをピクトグラムで表現し、そのピクトグラムの解説を作成する。移民の視点から「これからの持続可能な社会」を構想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「ピクトグラム」例：「目標10：人の移動による文化背景の異なる他者（多様性）の尊重」 	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒一人ひとりが自分なりの「持続可能な社会」を紡ぐことができるように「問い」を共有する。 ●資料館見学で得た情報を根拠にできるように促す。

6 学習後の姿

SDGsの目的・意義・スローガンを確認したうえで、「パスポート」や紙芝居を通して、移民の歴史や現状と紐づけされたSDGsについて、生徒一人ひとりが解釈することができている。このプロセスを通して、「これからの持続可能な社会」を創る準備ができており、「SDGsピクトグラム」というかたちで表現し、伝え合うことができている。このことは、生徒一人ひとりが「これからの持続可能な社会」を考えるために重要であり、現代の諸課題へのアプローチとなる。

7 授業づくりのための参考資料

- JICA 横浜 海外移住資料館「パスポート」
- 蟹江憲史著(2020)『SDGs(持続可能な開発目標)』中公新書